Ⅲ期（一般・社会人）

受験番号		氏名	

令和2年度

武蔵野大学大学院　看護学研究科看護学専攻　　入学試験問題･解答　（3月8日）

評　点

［　地域看護学　］

1．地域包括ケアシステムとは、団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制のことです。この体制をより質の高い仕組みにしていくためには、高齢化による様々な課題を解決するためか、あるいは豊かにいきいきと自分らしく生きることができる長寿社会を築くためか、その解釈によって今後の取り組みが変わりそうです。ヘルスプロモーションの理念をもとに、看護職であるあなたは、どのような取り組みを考えますか。例を挙げて述べなさい。

２．2018 年に改訂された「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」には、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の考え方が盛り込まれました。ACP とは「人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス」のことです。医療・ケアチームの中で、看護職は、対象者そしてその家族に最も近い医療専門家として関わることになります。そこで、人生の最終段階における医療およびケアの意思決定において、看護職に求められる役割について、あなたの考えを理由も含めて 3 点述べてください。